

事務事業評価シート

令和 1 年度事後評価・決算

令和 3 年 2 月 22 日時点

事務事業名		73600	訪問型サービス事業	予算科目	会計	款	項	目	担当班	介護保険班
施策体系	基本施策	27	高齢者福祉の充実	根拠法令	介護	5	1	1	☒ 主な事業	☐ 国土強靱化地域計画
	施策の展開	51	介護予防の推進	戦略事業	235	介護予防・日常生活支援総合事業			☐ 新市建設計画	☐ 定住自立圏構想
	施策の展開			戦略事業					☐ 主要事業	

(1) 事務事業の概要

① 事務事業の期間		② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない		
☒ 単年度繰返	☒ 平成 28 年度～	要支援者等の介護予防を目的として、ホームヘルパー等が要支援者等の自宅を訪問し、食事や掃除、洗濯、買い物などの身体介護や生活援助を行なう事業。市が指定するサービス事業者が利用者に対してサービスを実施した場合に、当該事業者に対して事業費を支給する。		
	☐ 開始年度不詳			
	☐ 期間限定複数年度 平成 年度～ 平成 年度まで			
③ 事務事業開始の経緯・事務事業の現状		④ 事務事業に関する課題・環境の変化		⑤ 事務事業に対する住民からの意見等
介護保険法の改正に伴い、予防給付のサービス(介護予防訪問介護)の一部を地域支援事業へ移行することとなる。市では平成28年3月1日から現行相当サービスの移行のみにより開始。		これまでは国の基準による全国一律のサービスのみの実施であったが、市独自の基準による等多様なサービスの実施が可能となったことから、地域の実情に応じたサービスの充実が課題となっている。		特になし(今後、サービスの充実を図るため、地域のニーズ等の把握に努める)

(2) コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細(1年度の決算)		単位:千円	単位	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(決算)	1年度(決算)	2年度(予算)
1.訪問型サービス事業費	20,214	負担金	千円	20,221	22,139	20,942	20,214	21,585
② 特定財源の内訳(1年度の決算)		単位:千円	事業費計 (A)	千円	20,221	22,139	20,942	20,214
1.国庫支出金	5,054	地域支援事業交付金	千円	5,055	5,535	5,235	5,054	5,396
2.都道府県支出金	2,527	地域支援事業交付金	千円	2,527	2,767	2,617	2,527	2,698
3.地方債			千円					
4.その他	7,985	地域支援事業交付金	千円	8,188	8,966	8,271	7,985	8,526
			千円	4,451	4,871	4,819	4,648	4,965

前年度増減理由	サービス件数の減。
---------	-----------

従事職員数 常時 人 最大 人 × 日 = 延べ 人

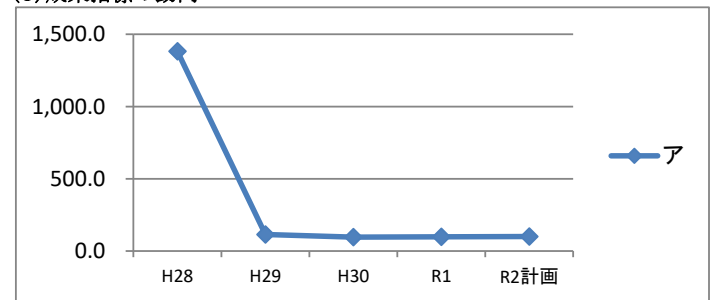
(3) 事務事業の手段・目的と対応する指標

手段	① 主な活動	③ 活動指標名	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	1年度(実績)	2年度(計画)
	1年度実績(1年度に行った主な活動) 要支援、総合事業対象者へ自立支援を目的に、ホームヘルパーが自宅に訪問し、食事や掃除、買い物などの生活援助や入浴介助等の身体介護を行う事業。市が指定するサービス事業者が利用者に対してサービスを提供した場合に介護保険制度の基準額により、当該事業者へ事業費を支給する。	ア 利用件数	件	1,162	1,322	1,271	1,261	1,293
目的	② 対象・意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標名	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	1年度(実績)	2年度(計画)
	対象意図 要支援1及び2の者、または厚生労働大臣が定める基準に該当する事業対象者 対象意図 要支援状態からの自立の促進や重度化予防	ア 前年度に対する利用件数の増加率	%	1,383.0	113.7	96.1	99.2	100.9

(4) 事務事業優先度評価の結果

①成果優先度評価結果			②コスト削減優先度評価結果		
		成果向上余地	コスト比率		
			下位 1/3	中位 1/3	上位 1/3
施策 貢献 度	大きい				
	普通		⑤		
	小さい				
評価 結果	①				
	②				
	③				
	④⑤	(4)			
	⑥				
	⑦⑧				
	⑨				

(5) 成果指標の動向



(6) 事務事業に関する評価

評価内容	① 進捗状況	☐ 完了 ☐ 順調 ☒ 概ね順調 ☐ 停滞 ☐ 実施困難				
	【コメント】 (停滞・未実施・実施困難の場合、その理由)					
	② 成果の状況	成果指標ア	成果指標のタイプ	数値増＝成果向上 ☐ 向上 ☒ 横ばい ☐ 低下	比較	27年度 28年度 29年度 30年度 1年度
	【コメント】 (低下の場合、その理由)	成果指標イ		数値増＝成果向上 ☐ 向上 ☐ 横ばい ☐ 低下	成果動向	28年度 29年度 30年度 1年度 2計画
	③ 今年度取組事項 (2年度に取り組む主な事項について記載)	時期	内容	今後の方向性	現状維持 ☒ 見直し ☐ 廃止・休止 ☐ その他 ()	